

# 二本松訓練所入所案内

JICA 海外協力隊派遣前訓練（長期派遣者向け）

実施場所：二本松青年海外協力隊訓練所

独立行政法人国際協力機構

青年海外協力隊事務局

二本松青年海外協力隊訓練所

JICA NIHONMATSU TRAINING CENTER

# 目 次

|  |    |
|--|----|
| 派遣前訓練開始にあたって                             | 3  |
| 1 訓練期間                                   | 5  |
| 2 訓練実施場所                                 | 5  |
| 3 訓練形態                                   | 5  |
| 4 訓練入退所スケジュールについて                        | 5  |
| 5 身辺整理                                   | 5  |
| 6 事前学習・準備                                | 6  |
| 7 持ち込み品                                  | 7  |
| 8 持ち込み禁止物品                               | 10 |
| 9 車両について                                 | 10 |
| 10 訓練中の身だしなみ                             | 10 |
| 11 訓練所での生活                               | 11 |
| 12 派遣前自治体表敬訪問                            | 13 |
| 13 広報活動等への協力について                         | 13 |
| 14 選挙について                                | 13 |
| 15 「技術補完研修」「技術自己学習」「資格取得指示」有合格者の<br>留意事項 | 13 |
| 16 個人情報の取り扱い                             | 14 |
| 17 問い合わせ                                 | 14 |
| 施設・設備案内                                  | 15 |

別紙1 二本松訓練所日課表（例）

別紙2 二本松訓練所講座一覧（例）

別紙3 二本松訓練所日程表（例）

この「二本松訓練所入所案内」には入所前に必ず準備すべきこと、及び訓練中の注意事項等が記載されています。入所してから困ることのないように最後まで必ず読んでください。

## 派遣前訓練開始にあたって

この度は JICA 海外協力隊事業にご参加いただきありがとうございます。皆さんが持つ「開発途上国の人々の役に立ちたい」というボランティア精神と自ら手をあげてこの事業に参加した自発性に深く敬意を表します。

同事業は国の事業として 50 年以上の歴史を有し、1965 年（昭和 40 年）発足以降、97 か国へ 5 万 3 千人以上の隊員を派遣し国の内外から高い評価を得ています。また、帰国した隊員 0V の皆さんは、協力隊での経験を活かし「グローバル人材」として国内、海外で活躍しています。そして、この事業は、日本の国民をはじめ大変多くの方々のご理解、ご支援を受けることで今日まで継続することができています。

ですので、派遣前訓練に参加するにあたり、JICA 海外協力隊事業の歴史と意義、そして日本国内の多くの方々のご理解、ご支援に支えられていることを知ると共に、誇りと感謝の気持ちをもって訓練に臨んでいただきたいと思えます。

協力隊での 2 年間は、日本では決して経験できない、長い人生の中でもかけがえのないものになるでしょう。しかし一方で、その道は決して平たんなものではありません。現地で直面する様々な困難を乗り越えるためには、前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力、コミュニケーション力、異文化理解・活用力、健全な身体等が求められます。派遣前訓練では、皆さんがこうした技能を習得できるようカリキュラムを組むとともに、我々訓練所スタッフも皆さんが訓練を無事修了できるようしっかりと支援する所存です。

つきましては、この 70 日間の訓練を円滑に進めるため、まずはこの資料を熟読し事前の心の整理と諸準備をしていただくようお願いします。また、派遣前訓練に参加するにあたり以下の点にご留意願います。

- 前述のとおり本事業は国の事業であり、これに参加する皆さんは常に「公人」としての意識を持ち、良識ある社会人として行動することが求められます。また、本事業は日本国内の多くの方々のご理解、ご支援に支えられておりその期待に応えるためにも、協力隊員としての品位と節度を保つことが不可欠ですので、訓練ではこうした意識を高めていただくようお願いします。
- 皆さんは、訓練期間中は隊員「候補者」となり、この訓練を修了してはじめて協力隊員となります。その意味では「訓練は選考」の一環であり、仮に、訓練の所期の目的が達成できない、協力隊員としての適性を欠く、傷病のため訓練を継続できない等、判断された場合は残念ながら訓練を中止せざるを得ない場合もありますので予めご承知おきください。

- 海外では治安を始め様々なリスクが存在するため JICA は各国で安全・健康に関する詳細なルールを設定していますが、派遣国で安全かつ健康に過ごすためにはこうしたルールを順守できる各人の「自己管理能力」が不可欠です。また、訓練所では多くの人々が気持ちよく生活でき、訓練が円滑に行われるよう様々なルールを設けていますので、同ルールを順守し「自己管理能力」を更に高めてください。
- 語学力は派遣国の人々とコミュニケーションを図り協力活動を円滑に行うための大切な手段の一つですが、初めて接する言語もあり隊員候補者の皆さんはその習得に苦勞されています。また、語学の訓練は該当者に別途お知らせする「語学事前学習」の履修を前提に開始されますので、対象者の方はスタートで決して躓くことの無いよう「語学事前学習」にしっかりと取り組んでください。
- 協力隊活動で特に重要な資質・能力は「前に踏み出す力」、即ち物事に進んで取り組む力です。この訓練を通じこうした力を更に高めるため、受け身にならず常に積極的な姿勢で訓練に取り組んでください。
- 訓練では日本各地から年齢や専門性の異なる様々な人々が集まりますが、皆、「途上国の人々の役に立ちたい」という志は同じですので、多くの人々と知り合い仲間を作ってください。そしてお互い支え合い訓練を乗り切ってください。また、多様な人々と知り合い経験を語り合うことで自分を見つめ直す機会や将来を考える機会にもなります。ぜひ、この訓練を通じ協力隊帰国後の進路や目標についても考えていただければと思います。

それでは訓練所でお会いできる日を楽しみにしています。

独立行政法人国際協力機構  
青年海外協力隊事務局  
二本松青年海外協力隊訓練所長

## 1 訓練期間

70日間

※日程はホームページ上の派遣までのスケジュールを確認してください。

## 2 訓練実施場所

独立行政法人国際協力機構 青年海外協力隊事務局 二本松青年海外協力隊訓練所

〒964-8558 福島県二本松市永田字長坂 4-2 TEL. 0243-24-3200 (代) FAX. 0243-24-3214

※ 訓練所は、二本松市街地から約 12km、磐梯朝日国立公園内の安達太良山の山腹（標高約 650m）に位置します。

## 3 訓練形態

長期派遣の JICA 海外協力隊候補者（青年海外協力隊、海外協力隊、シニア海外協力隊）の合同合宿訓練です。日課の詳細は別紙 1 二本松訓練所日課表（例）、別紙 3 二本松訓練所日程表（例）を参照してください（なお、訓練が実施される時間帯を「課業」と呼びます）。

## 4 訓練入退所スケジュールについて

(1) 集合時間：12：30～13：50

※ 昼食は入所前に済ませてきてください（訓練所周辺に食堂等はありません）。

※ 交通機関の事故等、不測の事態が生じた場合は、必ず訓練所へ連絡してください。

(2) 集合場所： 二本松青年海外協力隊訓練所

(3) 臨時バス運行表：（発着予定時刻）

|     | JR 二本松駅発 | 訓練所着  |
|-----|----------|-------|
| 臨時① | 12:00    | 12:30 |
| 臨時② | 12:40    | 13:10 |
| 臨時③ | 13:20    | 13:50 |

※ バス料金は、500 円です。乗車時にチケットを購入してください（旅費は後日指定口座へ振り込まれます）。

※ JR 二本松駅から訓練所までのタクシー料金は約 5,000 円です（バス料金との差額は自己負担となります）。

※ 訓練所入所日から訓練期間中は自動車及び単車の運転は認めていません。入所に際しても公共交通機関を利用してください（家族の方等が送迎されることは差し支えありません）。

※ 入所に際し支給される交通費（航空機利用含む）、宿泊費等については、JICA 海外協力隊ウェブサイトを参照してください。

<https://www.jica.go.jp/volunteer/qualifier/long/3-6.html> → 【確認書類】 旅費説明

(4) 退所：13:15 訓練所発（予定）

## 5 身辺整理

訓練期間中は外泊および外出時間に制限があります。また、訓練修了から各受入予定国への出発までの期間にはあまり時間がないことも念頭におき、家族、友人、職場、学校等には訓練参加のため「この期間中は行事等に出席できない」ことをあらかじめ伝えておくと共に、種々の身辺整理（引越し、職場への挨拶、仕事の引継ぎ等）を入所前に済ませておいてください。訓練期間中は土曜日・祝日も課業があります。

## 6 事前学習・準備

- (1) 入所後、語学の授業は事前学習を行ってきたことを前提として開始されます。皆さんが入所後の語学訓練をスムーズに行えるよう、入所前の事前学習をしっかりと行い、学習項目を全て習得するよう努めてください。また、入所後すぐに確認テストを実施しますので、必ず事前学習を行ってきてください。
- (2) 訓練では、講座等で開発援助や国際協力に関わる諸問題等について学習し、JICA 海外協力隊としての素養を身につけます。講義の理解を深め、JICA 海外協力隊として任国での充実した活動を行うために、合格通知に同封の「派遣に向けて 合格から訓練所入所までの手続き」に記載のインターネット事前学習（青年海外協力隊講座および JICA-Net 学習）受講手続きを行い、入所までに計画的に学習して、受講後のレポートも入所前に修了してください。レポート修了が訓練所入所の条件となります。
- (3) 体力維持・増進のため、ランニング（体力づくり）などを自主的に行っていただきます。
- (4) 訓練所入所予定者は、現地で活動を行うために必要な専門知識・技術を既に有しているとの観点から、訓練カリキュラムの中には、専門職種の技術力向上を目的としたものは組み込まれていません。専門職種に関する事前準備等は、訓練所入所前に各自で済ませておいてください。
- (5) 訓練期間中に皆さんと JICA との間で「訓練」および「派遣」に関する書面（合意書等）に署名・捺印していただきます。詳細は入所時のオリエンテーションで説明します。なお、JICA 海外協力隊ウェブサイト合意書の見本が掲載されますので、必ず事前に目を通しておいてください。
- (6) 氏名、本籍地の変更などがあった場合には、銀行口座の名義変更、各種証明書等の更新・書き換え手続きを入所前に済ませておいてください（入所後に手続きを行うことは困難です）。特に以下の項目は派遣手続きや経費の支給に影響しますので確実に対応願います。

| 項目             | 対象者   | 理由                                       |
|----------------|---|--|
| 国内手当等受け取り口座の名義 | 全員  | 経費等の振込先は本人名義の口座に限ります。                    |
| 一般旅券（パスポート）    | 一般旅券を所持している方  | 公用旅券の申請に必要です。                            |
| イエローカード        | 黄熱病予防接種が必要な方  | 公用旅券と各種証明書の記載事項（氏名、本籍地など）は一致している必要があります。 |
| 職種に関する免許証      | 英文免許証・医療免許証の提出を求められている方                                     |  |
| 運転免許証          | 任国で自動二輪車の貸与を受ける方（合格通知で指示のあった該当者のみ）、自動車の運転を認められている方（シニア案件のみ） |  |

## 7 持ち込み品

### (1) 必需品

#### 手続関連

- ・ 印鑑（シャチハタ不可）、朱肉

※印鑑は初日から使用しますので、宅配便で送らずに必ず持参してください。

- ・ JICA 海外協力隊要望調査票（送付済み）
- ・ 一般旅券（所持者）、イエローカード（該当者）
- ・ 航空券領収書・搭乗券残券／船舶領収書等（該当者）

※入所時持参書類に関する詳細は「JICA 海外協力隊ウェブサイト」を参照してください。

#### 健康関連

- ・ 健康保険証（p.12「(6) 病気およびケガについて」参照）
- ・ 市販薬（風邪薬、解熱鎮痛剤、胃腸薬、湿布等）・マスク
- ・ 予防接種を受けやすい服装（Tシャツ等）
- ・ 電子体温計（女性は婦人体温計と併用も可能）
- ・ 婦人体温計（女性は入所前より測定している婦人基礎体温表を持参してください）

#### 服装

服装はそれぞれの社会における文化、習慣の一部です。自らの置かれた立場を客観的にとらえ、TPOに応じた服装と身だしなみを心がけてください。

また、公人として奇抜な服装、髪型、装飾品等は控えるようにしてください。

#### ■公式行事用

- ・ 式典、証明写真撮影等で使用します。装飾等のない、シンプルかつフォーマルな服装としてください。
- ・ 訓練2日目から使用するため、宅配便で送らずに、必ず手荷物で持参してください。
- ・ 証明写真撮影等のため、ジャケットは必須です。

#### 【具体的な基準】

|      |  |
|------|--|
| 男女共通 | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 装飾等のない、シンプルかつフォーマルな服装とする</li><li>・ IDはクリップで胸に留める（ストラップ不可）</li><li>・ ワイシャツ及びシャツの下は透けない色（白又は肌色）の下着を着用（絵柄や文字のあるものは不可）</li><li>・ 軟骨ピアスや鼻ピアス、アンクレットは不可</li><li>・ 頭髪の過度な染色は不可</li><li>・ 髪の毛（男性は髭も）は整える</li></ul> |
|------|--|

|           |   |  |
|-----------|---|--|
| <b>男性</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>• スーツ上下<br/>黒、濃紺、ダークグレーいずれか単色<br/>織り柄は無地が望ましい<br/>ストライプの場合は同系色の目立たないもの</li> <li>• ワイシャツ（白無地。ストライプ、色つきボタン、襟及び裏地等に色柄があるものは不可）</li> <li>• ネクタイ（派手な柄は避ける）</li> <li>• 靴下（黒、くるぶしが隠れるもの）</li> <li>• 革靴（黒、紐がついたもの）</li> <li>• ベルト（黒）</li> </ul>  |   |
| <b>女性</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>• スーツ上下<br/>黒、濃紺、ダークグレーいずれか単色<br/>織り柄は無地が望ましい<br/>ジャケットは襟がついているもの<br/>ストライプの場合は同系色の目立たないもの<br/>膝丈のスカート又はスラックス</li> <li>• シャツ（白無地。襟付き、裾は中に入れる。ストライプ、フリルなど襟元に装飾があるもの及びスカーフの着用は不可）</li> <li>• ストッキング（ベージュ。スラックスでもストッキングは着用）</li> <li>• 革靴（黒のローファー、ローヒールパンプス等。エナメル、スエードは不可、つま先と踵が隠れるもの、ピンヒール、装飾のあるものは不可）</li> <li>• ベルトをする場合は黒で余分な装飾のないもの</li> <li>• 華美な宝飾品は不可</li> <li>• 派手な色のマニキュアは不可</li> </ul> |  |

### ■朝の集い用

朝の集いでは国旗掲揚（紹介）を行いますので、国旗に対して敬意を示す意味で、肌の露出を控えるなど服装のマナーに十分留意してください。

#### 【例】

|           |  |
|-----------|--|
| <b>男女</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 国旗掲揚時は半袖・長袖と長ズボン（足首が隠れるもの）を着用する</li> <li>• ノースリーブ、スパッツ、短パンは不可</li> <li>• サンダル、クロックスは不可</li> </ul> |
|-----------|--|

### ■一般課業用

公人である候補者の皆さんの立場において、課業（語学授業、講座等）は「公務」と見做されま  
す。社会人として相応しい服装を身につけ、ジーパン、T シャツ、サンダル等、ラフな格好は避けて  
ください。

#### 【例】

|           |   |
|-----------|---|
| <b>男性</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>• スラックスまたはチノパン</li> <li>• ワイシャツ（色・柄の派手ではないもの）</li> </ul>                                 |
| <b>女性</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 膝丈スカート、スラックスまたはチノパン</li> <li>• ブラウス又はポロシャツ（色・柄が派手でないもの）</li> <li>• ノースリーブ不可</li> </ul> |

## ■その他

「救急法」やその他指示のあった場合には、トレーニングウェア等、運動に適した服装をしてください。

### 【例】

|    |  |
|----|--|
| 男女 | <ul style="list-style-type: none"><li>・ トレーニングウェア（上下）</li><li>・ 運動靴<br/>ランニングまたはジョギング等ができるもの<br/>サンダル、クロックス等は不可</li><li>・ 体育館用運動シューズ</li></ul> |
|----|--|

## ■課業時間帯以外

公人としての品位を保ち、また共同生活のマナーを守った服装を心がけてください。

### 生活関連

- ・ 懐中電灯 ・ 雑巾 ・ 洗面用具 ・ 入浴セット（シャンプー、石鹸、タオル等）
- ・ 文房具（筆記用具、ハサミ、のり等） ・ 洗濯洗剤
- ・ 地域実践等の所外での課業用として、長袖シャツ、長ズボン、防寒着、帽子、軍手（綿製）、雨合羽（上下が望ましい）、デイパック（日帰り～1泊用程度用）  
（夜間は冷え込むので暖かい服装を準備してください）

### 講座・語学関連

- ・ 事前学習資料テキスト（該当者）
- ・ 提出課題（該当者、訓練入所後回収します）
- ・ 専門書（英語では活動分野別授業が有ります。詳細は JICA 海外協力隊ウェブサイト 4-4 語学事前学習 テクニカルクラスについて（二本松訓練所用）参照）
- ・ USB メモリー等電子ファイルを記録出来るもの（資料を電子ファイルで渡す場合もあります）

### (2) その他利便性の高い物品

- ・ ノートパソコン（語学授業で使用する場合もあります）
- ・ ポータブルオーディオプレーヤーなど（語学自習用）
- ・ コップ（うがい用、タンブラー/サーモボトルなど語学教室や居室用）
- ・ スリッパ（居室で利用可）、サンダル/クロックス（宿泊棟にて利用可）
- ・ 速乾タオル等（ドライヤーの利用には制限があります）  
居室内のタオル掛けはハンドタオル用のサイズです
- ・ 虫よけ、虫刺され用かゆみ止め  
（訓練所周辺にはブヨが多く生息するため、有効な薬の持参をお奨めします）

(3) 宿泊施設は個室になり、約3畳の中に以下の備品が備え付けてあります。

持ち込み物は必要最小限に留めてください。

|      |  |
|------|--|
| 居室備品 | 寝具一式（ベット、布団、毛布、シーツ、枕）、クローゼット、学習机、椅子、電気スタンド、タオル掛け、ゴミ箱 |
| 共用備品 | 洗濯機、乾燥機、アイロン、冷蔵庫、給湯器、電子レンジ、テレビ（視聴時間に制限あり）            |

(4) 訓練所設置のパソコンからプリントアウトが可能です。紙は各自で準備してください。

また、有料のコピー機／プリンター（モノクロ、カラー）も設置しています。

(5) 衣類の用意については、以下の URL で気候・気温等参考にしてください。訓練所は市街地よりも標高が400m程高いため、気温もかなり低くなります。厳冬期の最低気温は-18℃です。

二本松市：<http://www.city.nihonmatsu.lg.jp/>

岳温泉観光協会：<http://www.dakeonsen.or.jp/>

(6) 別送荷物について

宅急便で荷物を送付される方は配達指定日を必ず訓練開始日以降としてください（着払い不可）。なお、訓練所内は階段が多く、またエレベーターが設置されていません。荷物の持ち運びを容易にするために、小分け（軽量）にすることをお勧めします。

【宛先】

〒964-8558 福島県二本松市永田字長坂 4-2 JICA 二本松青年海外協力隊訓練所  
TEL:0243-24-3200 2000-0（隊次） 〇班 〇〇〇〇（本人名）宛

## 8 持ち込み禁止物品

- ・酒類（退所処分の対象となります）
- ・冷暖房器具（電力容量の問題により）
- ・お香、アロマなど火気を使用するもの（防災の問題により）

## 9 車両について

訓練所へ個人の車両（単車、自転車等を含む）を持ち込むことはできません。

## 10 訓練中の身だしなみ

受入予定国の慣習・価値観等の尊重、さらには JICA 海外協力隊が公人として派遣されるとの立場から、TPO（時、場所、状況）に配慮した身だしなみを心掛け、過度な頭髪の染色、奇抜な服装、髪型、装飾品等は控えてください。また、入所後すぐに写真撮影（公用旅券や入国ビザ用等）を行います。過度な頭髪の染色、カラーコンタクト、まつ毛のエクステンション等、取り外すことのできない装飾品等は公用旅券用写真では認められない場合がありますので、注意してください。なお、調髪に行く時間的余裕はありませんので入所前に整えてきてください。

## 11 訓練所での生活（別紙1 二本松訓練所日課表（例）を参考にしてください）

### (1) 「朝の集い」と国旗掲揚について

訓練所の1日は、「朝の集い」から始まります。全員が集合し人員確認・国旗掲揚（日本国および受入予定国）等を行います。

また、式典（入所式、修了式）においては、日本国国歌の斉唱を行います。

参照：JICA 二本松ホームページ「JICA 海外協力隊派遣前訓練」

<https://www.jica.go.jp/nihonmatsu/enterprise/volunteer/kunren/index.html>

Facebook <https://www.facebook.com/jicantc>

### (2) 郵便物、宅配便の取り扱いについて

訓練期間中の宛先は以下のとおりです。

#### 【宛先】

|  |
|--|
| 〒964-8558 福島県二本松市永田字長坂 4-2 JICA 二本松青年海外協力隊訓練所<br>TEL:0243-24-3200 2000-0（隊次） 〇班 〇〇〇〇（本人名）宛 |
|--|

#### 【郵便物の取り扱い】

|       | 受け取り                    | 発送                     |
|-------|-------------------------|------------------------|
| 宅配便   | 可<br>但し、着払い・代引き・クール便は不可 | 着払い発送のみ可               |
| ファックス | 不可                      | 不可                     |
| 郵便物   | 手紙・書留、可                 | 訓練所内に郵便ポストあり<br>切手も購入可 |

### (3) インターネットの使用について

訓練期間中、職種関連情報および任国情報の収集を補完し、円滑な活動遂行の一助とすることを目的として、インターネット接続パソコンを5台設置しています。

また、LAN（無線 [IEEE802.11b、IEEE802.11g] およびケーブル）を利用して、個人のパソコンをインターネット接続することもできます。インターネットは入所日夜のオリエンテーション後、使用可能となります。

（注）LAN 設備が老朽化しており、2021 年度末に設備更新を計画しています。それまでの間、インターネット接続が不安定又は不通となる場合がありますこと、予めご了承ください。

### (4) 面会

訓練期間中、親族の方および友人の方との面会は、所内規則の範囲で訓練に支障を及ぼさない限り行うことができます。面会時間は入所後配布する日課表を確認して各自でアレンジしてください。

(5) 外泊について

赴任準備、及び身辺整理等のために、土曜日の課業終了後(通常は 17:00)から日曜日 22:00 まで、申請により週末外泊が認められます。ただし、訓練日程上の都合および語学学習等の遅れが目立つ場合においては、訓練に集中して取り組んでいただくために許可しないこともあります。指定された日時以外の外出・外泊は原則許可していませんが、特別な事情(病院受診や家族[2 親等内]の慶弔事等)の場合は都度相談に応じます。

(6) 病気およびケガについて

訓練期間中の治療費に関しては、**公的医療保険の給付が受けられるよう、必ず「健康保険証」を持参してください。**訓練課業中に生じた傷病にかかる治療費等(保険適用後の 3 割分治療費および通院に係る交通費)は、JICA が福利厚生経費により負担します。ただし、課業外については全て個人負担となります。なお、課業中・課業外にかかわらず万が一不幸にして死亡または高度障害を負った場合は、JICA 災害補償制度および国際協力共済会にて対応します。

近年、ケガによる派遣延期が増加傾向にあります。訓練中にケガをする可能性の高い危険なスポーツは自粛してください。

歯科治療は入所前に完了していただく事になっています。入所前に完了できない場合は、「JICA 海外協力隊合格者窓口」(03-5835-3385)にご連絡ください。訓練所の周辺には歯科を含む医療機関はありません。また、主な移動手段はバス、タクシーとなり、片道 500 円~5,000 円(自己負担)となります。

派遣される各国の医療事情、薬の流通状況は日本と異なり、現在、使用している薬が入手できない場合もあります。2 年間の活動中に持病が悪化しないように入所前から主治医と自己管理の方法について相談してください。

(7) 食事メニューについて

提供される食事は日替わりですが、全員に同じメニューが提供されます。

(8) 日用品等の購入について

- ・ 訓練所付近に雑貨を購入できる店舗はありませんが、週 2 回(火・木)、外部業者(文房具/日用雑貨・写真)の出張販売があります。
- ・ 訓練所最寄りのコンビニエンスストア(ファミリーマート)は岳温泉(訓練所から約 2km)にあります。外出可能な時間帯に利用してください。

(9) その他

- ・ 候補者による食費および宿泊費の支払いは原則ありません。
- ・ 訓練期間中の国内手当は訓練修了日に一括して支払われる予定です。訓練期間中に必要と思われる最低限の生活費(文房具等購入費、クリーニング代、課業外の病気やケガに伴う治療費等)は各自で用意してください。

- ・自己都合により派遣前訓練を途中で辞退、又は訓練は修了したものの自己都合により派遣を辞退した場合には、派遣の準備にかかった費用およびキャンセルに伴う費用の負担を候補者に求めることがあります。
- ・公用旅券や入国ビザ用写真等に係る費用は、訓練修了時に支給される支度金に含まれています。
- ・訓練所内にはATM（現金自動預け払い機）はありません。約2km離れた岳温泉（徒歩20分、バスで5分程度）にある岳温泉郵便局（平日9:00～17:30、土曜日9:00～12:30）とコンビニエンスストア（ファミリーマート）にATMが設置されています。
- ・近くにクリーニング屋がありませんので、シャツやブラウス等は訓練所内の洗濯機で洗濯できる素材のものを勧めます。
- ・訓練所が安達太良山の山腹に位置しているため、携帯電話およびラジオの通信は良い状態ではありません。

## 12 派遣前自治体表敬訪問

訓練修了後、JICA 海外協力隊全員を対象とした公式行事として、指定日に地方自治体（都道府県および市区町村）への表敬訪問を行っていただきます。詳細は、入所後「表敬訪問オリエンテーション」でお知らせします。

## 13 広報活動等への協力について

JICA 事業の広報のために、取材や寄稿を依頼する場合があります。また、訓練中の写真等をパンフレット、ウェブサイトや SNS 等に掲載しますのでご協力をお願いします。  
 なお、派遣前自治体表敬訪問の際にもマスコミ等の取材にご協力をお願いします。

## 14 選挙について

派遣前訓練期間中に選挙が実施される場合は、事前に選挙人名簿のある選挙管理委員会に連絡し、必要な手続きを取ってください。また、期日前投票ができるのであれば事前に行うことをお勧めします。

期日前投票等、選挙に関連する質問は、最寄りの選挙管理委員会へ問い合わせてください。  
 また、訓練期間中に不在者投票をする方は早目に相談してください。

## 15 「技術補完研修」「技術自己学習」「資格取得指示」有合格者の留意事項

二次選考結果通知に「技術補完研修」「技術自己学習」「資格取得指示」の各欄に「有」と通知された方は指定された条件を満たすこと、または決められた研修を修了することが入所の条件となっています。条件を満たすことができなかった場合は訓練に参加できません。

不明な点がある場合は担当部署まで問い合わせてください。（P14 問い合わせ先参照）

- ・「技術補完研修」有合格者 - 技術補完研修報告書の提出（研修修了後3日以内）
- ・「技術自己学習」有合格者 - 自己学習報告書の提出（指定された期日まで）

- ・「資格取得指示」有合格者 - 資格取得指示報告書の提出（指定された期日まで）

## 16 個人情報の取り扱い

入所にあたり提供された個人情報は原則として以下の目的のために利用します。

- ・ JICA 海外協力隊の訓練、派遣に係る諸手続
- ・ JICA ボランティア事業実績の取りまとめおよび統計データの作成等

なお、業務を遂行するにあたり、委託先（訓練業務委託団体、語学訓練委託企業等）に情報提供する場合があります。また、提出された書類は返却できませんので、必要な方はあらかじめコピーをとってください。

JICA 海外協力隊ウェブページ上に「独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律（総務省ホームページへのリンク）」がありますので事前の一読してください。

### 【アクセス方法】

<https://www.jica.go.jp/disc/institution/index.html>

## 17 問い合わせ

HP (<https://www.jica.go.jp/volunteer/qualifier/long/1-4.html>) を参照してください。

### 総合問い合わせ先

JICA 海外協力隊合格者窓口

TEL:03-5835-3385（受付時間：土・日・祝を除く 9：30～12：30/13：30～17：45）

E-mail：[v-guide@joca.or.jp](mailto:v-guide@joca.or.jp)



① 居室（個室）

## 施設・設備案内

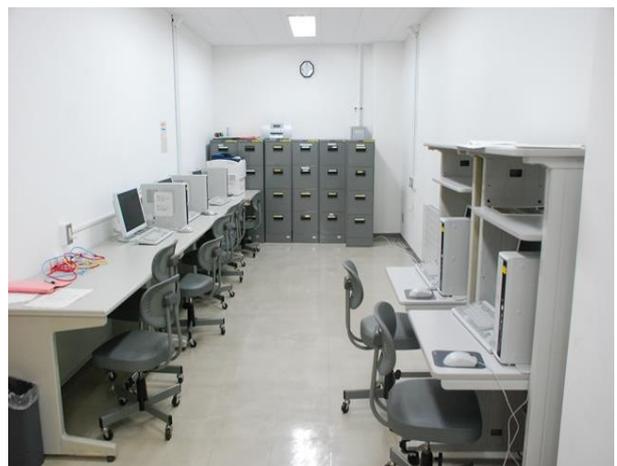
入所準備の参考にしてください



② 洗濯室



③ 浴室



④ PCルーム

- ① ベッドの下が“収納スペース”になっています。
- ② 洗濯機および乾燥機の使用料はかかりませんが、洗剤は各自で用意してください。  
洗濯機は洗剤及び柔軟剤口が無い機種ですので、柔軟剤入り洗剤が便利です。  
乾燥室（男女共有）には物干し竿のみ設置されています。
- ③ シャンプー、石鹸、ヘアドライヤー等は各自で用意してください。
- ④ インターネット接続パソコンが5台、LAN ケーブル5本が設置されています。
- ⑤ インターネットに関しては無線 LAN を設置していますが、大人数が同時に使用することもあり回線状況はあまり良くありません（部屋によって電波の状況が異なりますし、持ち込まれるパソコンによっても異なります）。つきましては、訓練所での電子ファイルによる配布資料は、PC ルームにある有線回線を使用してください。